

令和4年度
空知総合振興局農業農村整備事業環境情報協議会
議事概要

●日時 令和4年8月3日（水） 14:30～16:30

●場所 空知総合振興局 5階会議室

●出席者

環境情報協議会委員

- ・拓殖大学北海道短期大学 副学長 田中 英彦（座長）
- ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構 中央農業試験場 研究主幹 谷藤 健
- ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場 部長 楠田 聡
- ・NPO法人栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会 委員長 高橋 慎
- ・農業（岩見沢市） 平田 学
- ・農業（栗山町） 寺島 晃一

空知総合振興局産業振興部

- ・調整課 渡辺主幹、小林係長、山科主査、高橋主査、村田主任、増田技師、野田主事、本田技師、倉田技師、庄田主事
- ・整備課 須藤課長、伊藤主査

●議事概要（◇委員、◆振興局）

全体概要

- ◇ 昨年度までは2カ年調査の2年目に審議していたが、本年度からは1年目に審議するとのことだが、2年目の来年度の審議はどうなるのか？
- ◆ 計画年数はもう1年あるので、大きく変更が生じた場合などは、もう一度審議いただきたいと考えている。来年度の協議会では、2カ年調査の1年目で令和7年度着工（令和5～6年度計画）地区について審議いただきたいと考えています。
- ◇ 計画に大きな変化がなければ、この議題には挙がらないということよろしいか？
- ◆ そのとおりです。

大願北第1、大願北第2

- ◇ 調査している動植物は、ターゲットが決まっているのか？
- ◆ 排水路をポイントに調査し、現地で確認できた植物について整理しています。
- ◇ 記載している動植物は、どの様な意味を持って記載しているのか？
- ◆ 文献調査は、各市町村で策定している田園環境整備マスタープランなどから引用していますが、何をターゲットにするかという視点では記載していません。現地調査は、振興局職員が直営で調査を行い、確認できた動植物から抽出して写真を添付しています。
- ◇ 調査する時期によって確認できる動植物が変わるため、全体を把握することはできない。
- ◇ 職員自らが行う調査では、十分な調査とは言えない。保全すべきものは何か勉強会を行ったり、調査に立ち合わせてもらえれば変わってくると思う。
- ◇ 魚類調査では、コンクリート装工や落差工がある排水路で生物調査を行っても、何も採捕できない。常時流水があるかどうかでも調査結果は違いがある。
- ◇ レッドリストに載っているのは魚類や水生動物が多いので、地域に池や旧河川がどの様に残

っているのか、どの様に共生していくかを、農家意向だけではなく、地域全体で、集落づくりとあわせて、もう少し細やかに、前向きに、解決する方策を話し合えたらいいと思う。

- ◇ 毎年同じような議論があると認識している。職員自らが行う調査には限界があるので、昨年も委員から話の合った、地元の人達に何が生息しているかなどを聞くような取り組みを考えていただきたい。
- ◇ 地域で何を大事にし、それを守っていくためには、どうすればよいか具体的に記載していただけると、良いものになると思う。
- ◇ 地域の農家の人に、昔と比べて何が消えて、何が増えてきたのか聞いて、その変化が工事によるものか、気象状況によるものかを調べていった方がよいと思う。
- ◇ 除草剤散布した後に出てくる植物が圧倒的に多い。外来種の植物も昔からあり、もう外来種と言えないくらい変わってきている。どの植物を残しておくべきか、地元の人たちから話を聞いて、光をあてていかないと、農村景観自体が変わってくる。
- ◇ 環境調査結果の概要で、現地調査の項目に魚類が記載されていないのは、実際の現地調査で魚類が確認できなかったとの説明だが、他の地区では、魚類を採捕できた写真は付いているが、現地調査の項目に記載がない。資料全体の整合性がとれていない。
- ◇ 調査箇所の排水路は、水量・水深もあり、法勾配もあって危険を伴う調査と推察できる。網を使った調査はかなり難しいと思うので、「どう」という仕掛けを使って採捕することができるが、使用許可が必要な仕掛けのため、使用を検討される場合は水産担当部署と相談が必要。
- ◇ 調査方法までは細かく決められていないのか？
- ◆ 決められていません。
- ◇ 調査地点及び方法、特に調査目的について検討してもらいたい。
- ◇ 環境配慮対策が、どの地区も同じ内容で記載されている。地区によっては、特別こういうところに注意しているなど、濃淡のある記載をしていただきたい。

南区第1

- ◇ 調査エリア②と⑤とで、ドジョウの写真が重複しているが、ドジョウは両方で確認されたのか？
- ◆ 写真整理の段階で混じった可能性があります。
- ◇ 資料として、最終確認を行い写真掲載した方がよい。

東納内3

- ◇ 扇状地がはじまる地形的変化が大きく、環境変化も大きいと地域と推測される。周辺環境と明らかに違いがありそうな場合は、地区外の場所と対比したうえで考察した方がよい。
- ◇ 調査エリア②③は山側の縁のため、川の上流側や、調査エリア④は森林側も調査を行ってはどうか？
- ◇ 下流域の調査が基本と思うが、上流域に地区内とは異なる環境が存在する場合は、上流域も調査してはどうか？
- ◇ 調査は地区内で行うことに決まっているのか？
- ◆ 調査位置の決まりはありません。そのため、この地域の様に明らかに環境が変わるということを踏まえれば、地区外の調査を行うことも有効だと考えます。今後の参考にさせていただきます。
- ◇ 工事の影響があるのは下流だと思うが、上流にもどのような生物が生息しているか考え、工

事の影響が一番受けやすい場所を調査位置に選ぶことが必要と思う。

- ◇ 調査位置の選定は、どの様に行っているのか？
- ◆ 主に排水路で調査していますが、地区内で生息していそうな場所を探しながら決めています。
- ◇ 田園環境整備マスタープランに記載されている魚類は、総称で記載されている場合が多く、実際に何が生息しているか、また、ホタルの餌となるカワニナが生息している場合、ホタルも生息しているかは地域の人に聞かないと分からない。
- ◇ 鳥類の繁殖時期を避けると記載されているが、その根拠は何か？
- ◆ 山が近いから記載しており、明確な根拠はありません。
- ◇ 根拠を示しながら、具体的な対策もしっかりと記載してほしい。

暁第3

- ◇ 地区南側の道道沿いは、大きな防風林があると思う。写真以外にどの様な環境だったのか教えて欲しい。
- ◆ 近隣のエリアではサギが確認できましたが、本地区では確認できませんでした。
- ◇ この地区のポイントは暁沼になると思うが、写真ではどのような水生生物が生息しているか分からないので、補足説明して欲しい。
- ◆ 胴付きを履いて、沼の端で網を使って調査しましたが、目立った生物は採捕できませんでした。
- ◇ 文献調査の魚類にアカハラに記載があるが、アカハラはウグイが遡上してきたものの地域名称で、ウグイ（アカハラ）という記載を転記されたと推察する。もし、同じウグイとして表記しているならば、削除するべきかと思うので、確認して欲しい。
- ◇ この地区は、防風林や沼への対策がポイントとなる。

富士

意見など特になし

御園北部

意見など特になし

新弥生

意見など特になし

東栄第2

- ◇ 沼が地域としても重要なポイントということで、1号排水路の線形変更を行うということか？
- ◆ 現況排水路は斜めにあり、水田も斜めになっている。水田を大きくすることに伴い、排水路を道路沿いに振りなおし、現況と同じ構造で整備を行います。
- ◇ 添付された図面は、線形変更後の図面か？
- ◆ そうです。
- ◇ これによって沼への影響が軽減されるということか？
- ◆ 現況と計画を比較した際に、現況以上に沼へ影響が出ない線形を検討し、計画の位置としました。

- ◇ 2号排水路はどうか？
- ◆ 1号排水路と同様に検討し、現況と同じ構造で整備を行います。
- ◇ ビオトープ水路との関連性が理解できない。
- ◆ 現況施設が整備された際に、ビオトープ水路として位置づけられており、その構造を変えずに、線形を変えて整備を行います。
- ◇ ビオトープ水路としての前提を崩さずに整備するということか？
- ◆ そうです。
- ◇ 前歴事業で整備した際に、川から沼へ魚類がのぼれるように、魚道を作ったと記憶している。その効果がどうだったかなど、今回の事業に関連して説明されるとよかった。
- ◇ 地元の人たちとの意見交換で、そういった話はなかったか？
- ◆ 沼でビオトープ事業を行っていたのは認識していたが、沼に直接関わる用排水路の整備計画がなかったので、そこまでの話はなかった。

東滝川第3

意見など特になし

茶志内沼東

- ◇ 茶志内沼の周辺は環境省の重要湿地に指定されているエリアの一画でもあり、田園環境整備マスタープランでの渡り鳥への言及を確認してほしい。
- ◇ 文献調査の鳥類に関して、土着のものが中心になっており、渡り鳥に関してはノーチェックと推察する。また、現地調査の時期も渡り鳥の飛来する時期とは異なる。渡り鳥が飛来し農地を餌場とすることを考慮したほうがよい。
- ◇ 茶志内沼は重要な箇所である。沼の調査写真に写っている草は「マコモ」で、マコモは白鳥などの渡り鳥が食べる重要な植物である。
- ◇ 茶志内沼を含めて周辺的环境整備を行い、子供達の体験学習を行いドジョウが沢山いる水田を見たら喜ぶと思うので、そういう事も考えていけるようになるとよい。
- ◇ 職員が一生懸命調査をして偉いと思う。こういう情報を上手に入れる方法も考えていったほうがよいと思う。
- ◆ この地区は、2カ年調査の1年目で、地域の人たちとも会う機会が多いので、聞き取りしながら検討していきたい。
- ◇ この環境情報協議会は平成14年から行っているが、2回目の整備となる地区はあるか？ その場合、前回整備の内容を反映しているか？
- ◆ 2回目の地区は、前回内容を参考にしながら検討しています。
- ◇ 今回の17地区では、2回目の地区はあるか？
- ◆ ありません。
- ◇ 茶志内沼の西側は15年位前に整備していると思うので、必要な情報としては似たところがあると思うので確認された方がよい。
- ◇ 「タイリクバラタナゴ」の写真では輸卵管があるように見える。輸卵管であれば、産卵をする状態の魚が採捕されており、繁殖している可能性があると言える。

共成3

意見など特になし

岩 幌

意見など特になし

三 笠

- ◇ 撤去の施工時期はいつ頃を考えているか？
- ◆ 夏場だと河川水量が多いので、渇水期の11月などを考えています。
- ◇ 11月だと雨が多くないか？
- ◆ 夏場の方が雨は多い。
- ◇ 撤去することで、決壊被害区域で違うリスクとして、大雨等の治水対策は想定しているか？
- ◆ 治水ダムではないため、想定はしていない。下流側の河川管理者と協議を行っており、河川改修は終えており流量は問題ないとの回答を得ています。
- ◇ 現在は貯水していないのか？
- ◆ 貯水していません。

中村第1

意見など特になし

高 島

意見など特になし

碧 水

意見など特になし

新光東

- ◇ 添付されている環境配慮内容は、過去のものか？
- ◆ 平成28年に環境情報協議会で審議した内容です。
- ◆ 計画変更で追加となる排水路は保安林内を通りますが、保安林内を通る排水路は計画時点にも1条あり、平成28年の環境情報協議会に諮っており、同様の対策を行う予定です。
- ◇ 排水路追加に伴う配慮内容は記載されていないということか？
- ◆ 計画変更として法手続きを行っており、保安林を所管する部署とは、どのルートが一番伐採が少ないか話はしている。

その他

- ◇ 多くの課題が出たので整理・検討してほしい。
- ◇ 現地調査を職員自らが行っているのは分かるが、一緒に植物や鳥類の勉強をして調査を行うとか、渡り鳥の飛来する3・4月に調査を行うとか考えてほしい。
- ◇ 揚水機場などの施設を撤去するだけではなく、保存して、農村文化にも予算を使うことも必要と思う。
- ◇ 地元の人が大事にしている物を一緒に見たり、意見を聞きながら、街づくりに繋げていくような環境情報協議会になっていく方策を考えてほしい。

- ◇ 無理しないでやれる方法で、一緒になって考えて作り上げていけばいい。
- ◆ 地元の人たちと話をする機会も増えてくるので、今日言われたことについては、情報を集めるように一層努力していきたい。
- ◆ 調査地点については、素人目ながら排水路で行っているが、事前に相談させていただきながら行っていきたい。
- ◇ 田園環境整備マスタープランの記載と調査結果の記載が混在しているので、区別して記載してほしい。
- ◇ 近隣地区の過去の調査結果など、分かる範囲で参考にすることも必要と思う。
- ◇ 地域の人との意見交換を十分に行っていただきたい。

以 上